9月29日 一般質問（要旨）



自民議連
玉重輝吉（たましげてるよし）議員
〈安芸高田市〉

中山間地域と都市部との地域格差の解消

問 中山間地域と都市部との格差をどう認識し、それを踏まえた上で、中山間地域の未来の姿をどう描き、振興を図るのか。

答 中山間地域では、人材不足等によりサービスや機能維持が難しい地域があり、生活利便性に影響が出ている。日常生活に必要な機能が維持され、持続可能性を高める仕組みが展開されることを目指し、市町等への情報提供や企画・立案の観点からの支援などを通じて、関係人口や雇用機会の創出、交通手段の確保、公共インフラの維持管理等を進めるほか、ＡＩやデジタル技術等の活用により人材不足等の克服を図る。

その他の質問項目

- 学校活性化地域協議会の活動結果の検証
- 若者に選ばれる魅力ある学校づくり
- 農地再整備に向けた予算の拡大
- 農地再整備に向けた自治体の財政規模に応じた支援の在り方
- 持続可能な農業に向けた所得確保



民主県政会
上野寛治（うえのかんじ）議員
〈広島市安芸区〉

国道2号の渋滞緩和に資する料金見直し

問 国道2号西広島バイパス都心部延伸事業が本格化しているが、迂回路への転換は約3～5％増にとどまる。国道2号の渋滞緩和に向けて、広島高速道路の料金を見直していく考えがあるのか伺う。

答 広島高速道路の料金は、**広島高速道路公社料金等調査会**において、より公平で利用しやすい料金に見直されることで、渋滞緩和に寄与するものと認識している。また、国・県・広島市等で構成する会議において、バイパス延伸工事に伴う渋滞対策を検討し、迂回路へ促すための交差点の改良や利用者への広報などの取組を進めている。

その他の質問項目

- 猛暑等に対応した避難所の在り方
- 高校再編の進め方
- 明神高架の工事の進捗状況と早期完成に向けた取組
- 海田大橋と広島高速の一体的な運用
- 砂防ダムの点検結果を近隣住民が把握できる体制の整備
- 国交省による瀬野川流域の砂防ダム整備との連携



自民議連
竹原哲（たけはらてつ）議員
〈広島市安佐南区〉

アグリツーリズムの推進

問 2027年国際園芸博覧会への出展を契機として、花きを入口に、農林水産物の生産現場と食や文化などの地域資源を結びつけた**アグリツーリズム**を推進し、観光消費の拡大と農林水産業の付加価値向上につなげることが大切と考えるが、所見を伺う。

答 中山間地域を観光や農業を起点とした交流に活用する視点は地域活性化、農林水産業の振興・発展に重要であり、博覧会への出展を観光振興の契機と捉え、市町やＤＭＯ等と連携して**アグリツーリズム**のコンテンツ造成を促し、農林水産業の付加価値向上や観光消費の増加につなげる。

その他の質問項目

- 広島県の広域経済拠点戦略
- 中山間地域を支える小規模事業者の事業継続
- 県産材の安定した需要の確保
- 広葉樹の新たな需要創出
- 子供の頃からの健康づくりと健康教育の充実
- 核兵器非保有国とのさらなる連携強化

など



自民議連
狭戸尾浩（せまとおひろし）議員
〈大竹市〉

カキの安定した生産体制の構築

問 海水温の上昇など漁場環境が気候変動の影響を大きく受ける状況においても、全国一のカキ生産量を維持していくため、生産体制をどう見直していくのか。

答 今年度、養殖密度を低減し、いかだの潮通しの改善や餌の摂取量を増加させる取組、海底耕うんやカキ殻散布による底質改善の取組、バスケット式の籠の導入による種苗の高温耐性の強化など、県内33地区で生産者により行われる実証実験を支援しており、効果の高い取組を生産者の意見も踏まえながら新たな養殖方法として県内に普及させ、持続可能な生産体制を構築していく。

その他の質問項目

- がん対策の推進
- 県産材の需要拡大
- 中山間地域の活性化
- インフラ老朽化対策の推進
- 宿泊税を活用した地域振興施策



民主県政会
高田稔（たかたみのる）議員
〈安芸郡〉

AI時代における本県の伝わり方とブランド

問 AIという新しい情報の仲介者が加わったため、主要なＡＩによる県の政策やブランド説明を定期的に確認し、本県の強みが適切に認識されるよう改善していく仕組みを設けることで、ＡＩ時代の広報を「どう認識されているか」へ一歩進めることが必要ではないか。

答 ＡＩを通じたブランディングは広報戦略で極めて重要であり、方法や内容の質の向上、量の拡大を目指し、最終的にどう認識されているかを意識した広報に取り組んでおり、主要なＡＩによる回答状況を確認し改善する仕組みも含めて、先行事例なども参考に研究していく。

その他の質問項目

- 現場起点とＡＩ活用による県政改革
- 造船分野で県が取り組む領域と目標
- ものづくり産業と他産業の掛け合わせによる新たな価値の創出
- 本県における農業の位置づけ
- 公共調達を活用した新技術の育成とデータ活用
- 広島市東部地区連続立体交差事業の周辺用地の活用

など



自民議連
安井裕典（やすいひろのり）議員
〈廿日市市〉

カキのへい死原因の検証と需要回復への取組

問 カキのへい死原因の分析をいつまでに完了させるのか、また、長期的な需要減少の原因をどう分析し、需要回復に向けて、今後どう取り組んでいくのか。

答 これまでの試験結果等を詳細に分析し、令和9年3月までに、最終的なへい死原因を取りまとめる。カキの長期的な需要は、家庭における生鮮カキの消費が減少する一方、加工用カキの消費へと移行しており、全体の需要量は変化していないが、昨シーズンのへい死被害で贈答用販売が落ち込んだ事例もあることから、イベントの開催や贈答用生鮮カキの販売促進キャンペーンを行う。

その他の質問項目

- 中山間地域の振興
- 今後の観光振興
- 鳥獣被害対策の成果と課題
- 豊かな海づくりに向けた取組
- 林業経営の拡大に向けた取組
- ジュニア世代のスポーツ選手の育成

など

広島県子供議会を開催

8月29日、県内の51人の小・中学生が議員役を務め、将来の広島県について議論する「広島県子供議会」を、県議会の本会議場で開催しました。（主催／広島県・広島県議会）

事前の勉強会では、「子育て支援・平和」、「地域交流・福祉」などのテーマごとに6グループに分かれ、10年後の広島県をどのような県にしたいかを議論し、知事等への提案を考えました。

当日は、定例会さながらの緊張感の中で、子供議員から「いじめや勉強など学校生活に関わることを、いつでも相談できる人を増やし、どの学校でも子供たちが相談できるようにしてはどうか」や「楽しみながら防災について学べる防災ゲームを作ってはどうか」など、様々な提案が行われ、知事や教育長等が答弁しました。

